

差出人: 地域連携課 共有 <hkd-as-chiikirenkei@ki.mlit.go.jp>
送信日時: 2024年7月8日月曜日 13:35
件名: 【旭川開発建設部】道北地域づくりワークショップ通信 <第1号>
添付ファイル: 第9期北海道総合開発計画広報イベント企画案（ともに考えませんか道北地域の未来）_240705V.pdf; 9期_地域づくりワークショップ案内パネル_240708v.pdf

////////////////////////////////////

道北地域づくりワークショップ通信 <第1号>

～ともに創ろう！ HOT&COOL DOHOKU～

////////////////////////////////////

（本メールは、これまでに名刺交換させて頂いた方に BCC 送信しています。

差し支えなければ、関係者に転送など頂けますと大変ありがたく存じます。）

日頃より大変お世話になっております。

旭川開発建設部では、第9期北海道総合開発計画に描かれた未来に向けて、道北を
より一層盛り上げる

ための活動をスタートしています。

このたび、地域の皆様と共に、さらに道北を盛り上げたい！との思いから、私たち
の活動を紹介します

『道北地域づくりワークショップ通信』を配信することとしました。

また、サブタイトルを ～ともに創ろう！ HOT&COOL DOHOKU～

として進めていくこととしました！

道北の大きな可能性を、皆様と“共に創造していきたいという思いを込めています！

そして、夏突入！

●ステップ1 いよいよ始動、各地域のイベントに出て行きます！

各地域のイベントで第9期北海道総合開発計画のパネル展示を行い、別添のチラシ
を配布します！

来場者から「地域のめざす姿」や「やりたいこと」等 地域づくりのためのご意見
やアイデアを募集します！

QRコード（以下 URL）には既にアイデア募集のフォームを開設し、試行運用して
いますので、

是非ともご意見をお願い致します。

※皆様にお配りしたカードサイズのチラシにも QR コードがあります。

※ご意見投稿先 URL→ <https://forms.office.com/r/SpSrHU1ZWK>

添付のチラシを多くの方にご覧頂けますよう、配布のご協力をお願い申し上げます。

不明な点等がありましたら、このメールや旭川開発建設部地域連携課にご連絡くだ

さい。

そして、夏のイベントに続く秋以降は、

●ステップ2 10月～12月に道北地域づくりワークショップを開催

皆様から頂いたご意見やアイデアを題材にSWOT分析を用いたワークショップを開催し、

アクションプランを策定します。

テーマは食、観光、脱炭素、くらし、交通・物流、安全安心等、6テーマ程度を予定しています。

●ステップ3 来年1月～3月

ワークショップで作成したビジョンをもとに道北の未来に向けた夢を語るシンポジウムを開催します。

●ステップ4 来年度以降、ビジョンに基づく各プロジェクトが始動！

ビジョンで描かれた大小様々なプロジェクトについて、多様な主体が総力を結集し、分野の垣根を越えた連携による共創チームにより、新しい価値を生み出す取組を進めていきましょう！

なお、これまで各方面に説明している資料を参考として添付しています。

これから道北の短い熱い夏が始まります。

Hot & Cool DOHOKU！

私たちは、道北の魅力向上のため皆様と共に頑張ります！

ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

道北地域づくりワーク

ショップ通信 編集長

(事務局 旭川開発建

設部 地域連携課)

ともに考えませんか？ 道北地域の未来

～ みんなで創ろう！HOT & COOL DOHOKU ～

北海道開発局旭川開発建設部

第9期北海道総合開発計画の目標達成に向けて

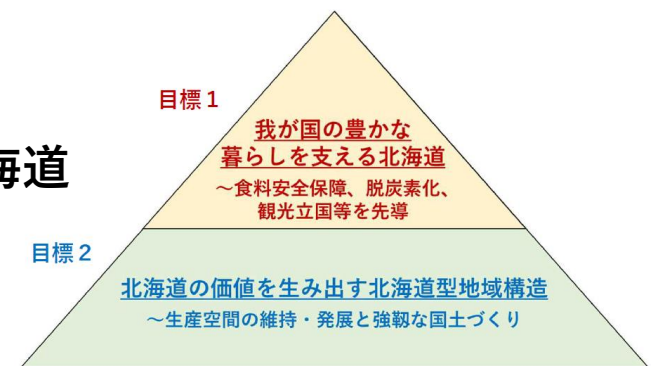
○第9期北海道総合開発計画

目標1 我が国の豊かな暮らしを支える北海道

～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道

目標2 北海道の価値を生み出す北海道型地域構造

～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり



○9期計画では「北海道の価値を高めるとともに、地域が直面する様々な課題の解決を図るためには、**多様な主体が総力を結集し、分野を越えた連携と共創により、新しい価値を生み出す取組を進めていくことが重要。**」とされている。

○旭川開発建設部では、計画の目標達成に向けて、食・観光・脱炭素化などをテーマに①広報イベントによる9期計画の周知を図るとともに、②地域課題解決・価値創造に向けた「共創チーム」を設置・推進し、③共創チームの活動を地域づくり推進ビジョンに反映する取り組みを展開する。

広報イベント
にて計画の周知

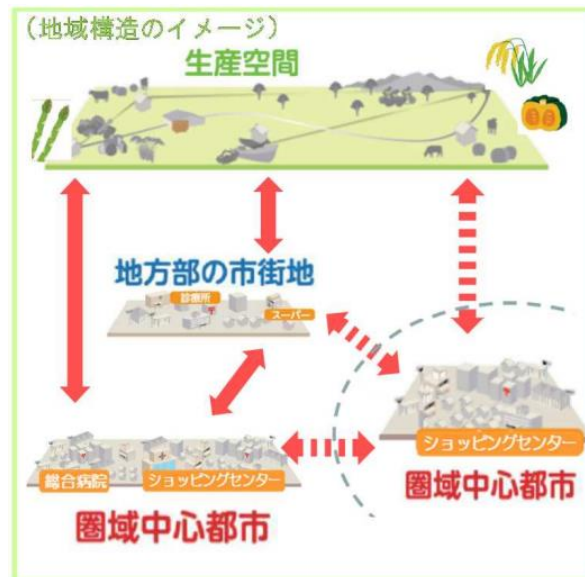
共創チーム
設置・推進

ビジョン
への反映

道北（上川管内）の現状考察① 北海道型地域構造

上川管内は、北海道第2の都市である旭川市を拠点とした道北圏域、北は名寄市や士別市、南は富良野市などを拠点とした中規模の圏域、さらに地方部の市街地や生産空間が重層的に形成されている。

このような圏域は管外へも広がりを持ち「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造」となり、食料安全保障や観光立国、ゼロカーボンなど「我が国の豊かな暮らしを支える北海道」を形成していると考えられる。



【このような圏域の特色】

- 稲作・畑作のほか、酪農や林業等、多彩な一次産業が見られる。
- 圏域内各層間で一定の依存が見られるほか、医療面での圏域とは別の圏域への購買依存があるなど、行動が多様。

■生産空間

主として農業、漁業に係る生産を支え、観光資源を提供する空間

■地方部の市街地

一定程度の生活サービス機能を提供する地域

■圏域中心都市

医療、教育・文化、商業等の都市機能・生活機能を提供

道北（上川管内）の現状考察② 既存の価値・強み

①豊富な農産品と個性的な食文化、②全国屈指の観光資源と魅力的なアクティビティ、③ゼロカーボンの導入潜在力など豊富で魅力的な地域資源が存在しているが、十分に活かしきれていないとはいいがたい。道北の価値を更に高めるには、これらの地域資源を最大限に活かす必要がある。

①豊富な農産品と個性的な食文化



かぼちゃ



グリーンアスパラ



士別サフォーク



ゆめぴりか



幌加内そば



富良野オムカレー

②全国屈指の観光資源と魅力的なアクティビティ



美瑛青い池



富良野ラベンダー



樹氷(ピヤシリ山)



旭岳



カヌー(天塩川)



サイクルツーリズム

③ゼロカーボンに向けた取り組み

森林面積が全道一の上川では、大規模な製紙工場や地域の公共施設等において、木質バイオマスを主燃料とするボイラーの導入が進んでいることから、木質バイオマスの利用量は、全道の21%（平成29年度）に及んでいる。



森林資源(下川)



一の橋バイオビレッジ



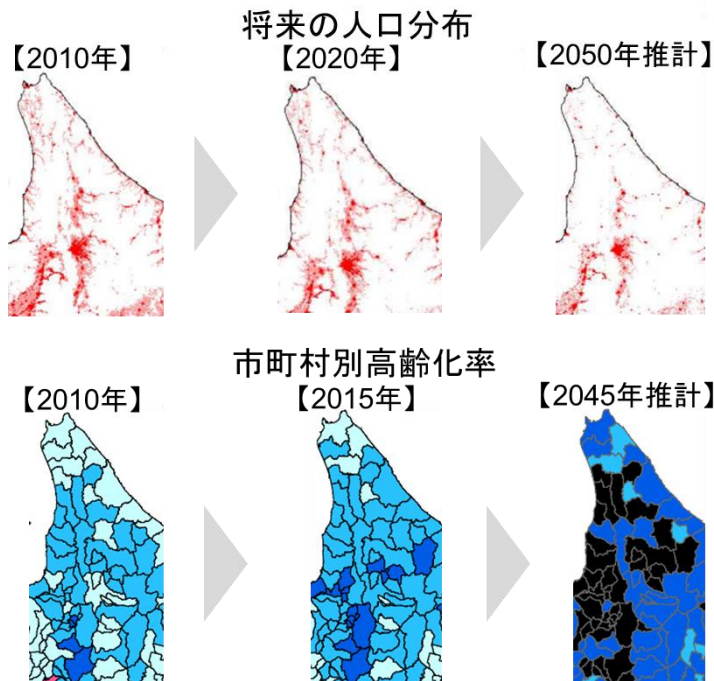
小水力発電(当永発電所)



カーボンオフセット(南富良野)

道北（上川管内）の現状考察③ 担い手不足

- 人口減少・少子高齢化の急速な進行により、除雪や医療、福祉、物流などに関わるエッセンシャルワーカーの担い手が不足し、大小拠点の活力低下が懸念されている。
- 新しい人材を呼び込むためには「道北に住みたい」「エッセンシャルワーカーが輝いている」と思わせるような魅力的な地域にすることが重要



看護師不足解消難しく

管内北部の自治体

上川管内の自治体は、医療の重要性が高まっている。しかし、看護師の不足が深刻化している。特に管内北部の自治体では、看護師の確保が難しくなっている。これは、少子高齢化の進行による需要の増加と、看護師の働き方改革の遅れによる供給不足が原因と見られる。

支度金や奨学金効果に限り

「支度金や奨学金の効果は限定的である」と指摘する。看護師の確保には、地域に根ざった取り組みが必要である。例えば、地域に特化した看護師養成や、働き方改革の推進などが挙げられる。

除雪運転手 高齢化進む



深夜・不規則 若手が敬遠

事業者撤退も

除雪運転手の高齢化が進んでいる。特に深夜・不規則な勤務体系は、若手が敬遠される傾向がある。また、事業者の撤退も懸念されている。これは、労働環境の改善と、若手人材の確保が急務である。

道北の除雪運転手の年齢構成 ※道の統計より

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
人数	112	529	874	1923	982	3478	3618
割合	3.1%	14.6%	24.2%	53.1%	26.9%	100%	

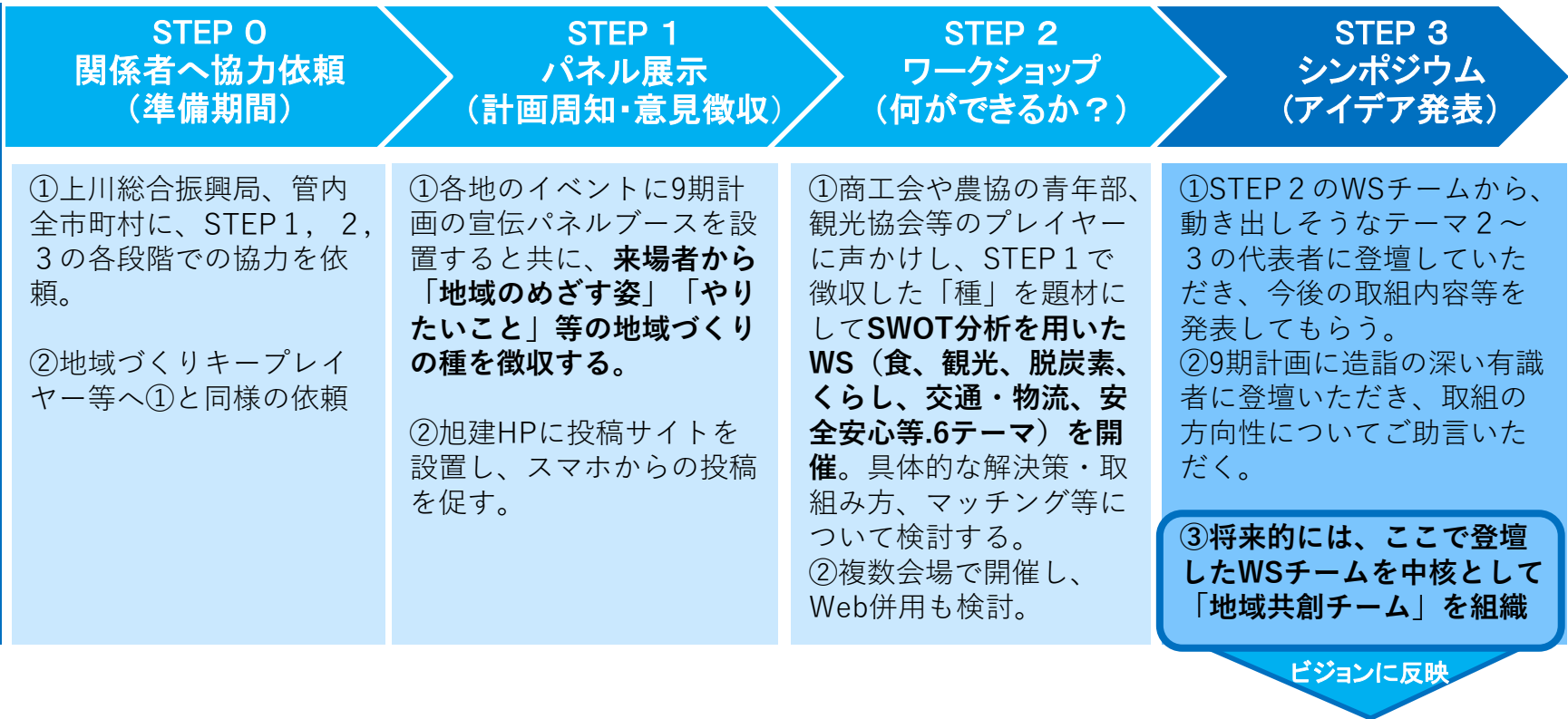
考察
結果

- ・道北の強みである食・観光・脱炭素（森林資源）を活かし、
- ・官民協働・連携を進めながら、
- ・道北を魅力的な地域にする取り組み・仕掛けが必要

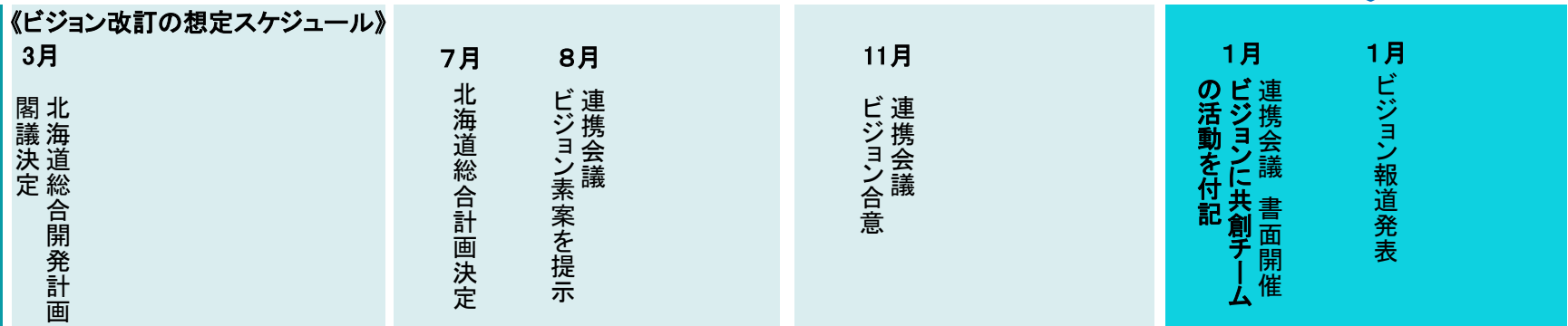
考察結果を踏まえた官民連携イベント 「みんなで創ろう！HOT&COOL DOHOKU」

ワークショップの結果を道北地域づくり推進ビジョンへ反映

広報イベント



ビジョン改定



ワークショップの結果をビジョンへ反映①

第1回ワークショップでは、食、観光、脱炭素、くらし、交通・物流、安全安心等6テーマを念頭にSWOT分析を実施。道北のおかれている環境条件を明確にする。

	好影響	悪影響
内部環境	強み・好きなところ (Strengths) ・ 地域資源を生かした一次産業 ・ 豊かな自然環境 ・ 全国屈指の観光資源 ・ 再生可能エネルギー導入の取組	弱み・苦手なところ (Weaknesses) ・ 人口減少による後継者、担い手不足 ・ 観光地の広域的な分散 ・ 高規格道路等のミッシングリンク ・ 地域間の医療格差
	機会・チャンス (Opportunity) ・ スマート農業の推進 ・ インバウンドを含めた観光客の増加 ・ 送電網整備実証事業 ・ 隣接地域との交流	脅威・ピンチ (Threat) ・ JRの減便、廃駅 ・ 激甚化、頻発化する大規模な自然災害 ・ 地球温暖化の進展

ワークショップ結果を「地域づくり推進ビジョン」の地域の現状・課題に反映

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」		
地域の現状・課題		
国家的・広域的な課題	連携地域の現状	連携地域の取組・課題
【食・産業】 道北地域は、人口減少・高齢化率が全道平均よりも高い割合で推移し、後継者や担い手不足が一層顕在化している状況です。さらに感染症の影響により外国人労働力に依存する生産体制のリスクが顕在化しています。生産空間を維持し、我が国の食料供給基地として貢献していくためには、農地・農業用水の確保、水産資源の回復・管理、漁場整備、後継者・担い手の確保・育成、スマート農業等、我が国の食料安全保障を支えるイノベーションの加速による農水産業の振興、「食」の高付加価値化と総合拠点づくりを進め、北海道の高品質な農水産品や食品の輸出を一層促進し、地域内で持続可能な農水産業を構築する必要があります。また、地域内外の交流・協働を促進し、人口減少をカバーするとともに、多様な人材との対流をひき起こし、効率的・利便性の高い物流ネットワークの形成、ポストコロナを見据え	○ 道北連携地域は6市31町4村からなり、面積は1万8千891㎦（全道の22.4％）。 人口（R2年国勢調査速報）は58万7千人（全道の11.2％）で、経年でみると減少傾向にあり、平成27年から令和2年まで5.1％減少（全道2.8％減）しています。 高齢者比率（R2住民基本台帳）は34.4％（全道31.4％）で、道内では高齢者比率の高い地域となっています。	・ 事業展開に当たっては、新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症の拡大防止と社会経済活動を両立し、生命・健康・暮らしを守っていくため、感染症に強い社会を築きあげていく必要があります。 ・ 新規就農者を確保するため、地域や農業を紹介する積極的なPR活動を継続的に行っていくとともに、研修会の開催等による農業の担い手のスキルアップ（底上げ）を実施していく必要があります。 ・ 中小・小規模企業は人手不足や後継者難などに直面していることから、地域の人材確保・担い手確保を図るため、業界、企業、行政、教育機関等の地域関係機関が連携した取組を更に推進していく必要があります。

ワークショップの結果をビジョンへ反映②

第2回ワークショップで第1回の時に出た地域の現状をもとにクロスSWOT分析を活用し、施策の方向性を4パターンに分けて考える。

	強み・好きなところ	弱み・苦手なところ
	・地域資源を生かした一次産業 ・豊かな自然環境 ・全国屈指の観光資源 ・再生可能エネルギー導入の取組	・人口減少による後継者、担い手不足 ・観光地の広域的な分散 ・高規格道路等のミッシングリンク ・地域間の医療格差
機会・チャンス	活用/積極戦略 ・スマート農業の推進 ・インバウンドを含めた観光客の増加 ・送電網整備実証事業 ・隣接地域との交流	改善/転換戦略 ・多様な担い手、人材が活躍できる環境づくり ・地域資源を生かした広域観光の推進
脅威・ピンチ	解消/多角化戦略 ・再生可能エネルギーの拡大、普及 ・自然環境や食を生かした通年、滞在型観光地づくり	回避/縮小・撤退戦略 ・交通ネットワークの維持、確保及び充実 ・災害に強いインフラ整備

ワークショップ結果を「地域づくり推進ビジョン」の「地域のめざす姿」に反映。

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

地域のめざす姿

〈概ね2025年度の地域のめざす姿を示しています。〉

広大な土地や特色ある自然環境、多様な資源を活かした産業が展開し、心豊かで安心して暮らせる「道北

連携地域」

高品質米を産出する稲作、多種多様な畑作、大規模な酪農、海域の特性を活かした漁業、豊富な森林資源による林業の活性化を図るとともに、農林水産資源などを活用した産業の振興に取り組みます。

天塩川や大雪山、日本海オロロンライン、利尻礼文サロベツ国立公園など多様な観光資源を活かした魅力あふれる観光振興に取り組みとともに、風力、木質バイオマスなどの新エネルギーの活用や離島振興など、豊かな自然と調和した脱炭素型の地域づくりを進めます。

また、地域の魅力ある資源を活かした移住・定住の促進やワーケーションの推進など関係人口の創出・拡大に向けた取組を進めます。

地理的・歴史的に関わりの深いロシア連邦サハリン州との多様な交流を進めます。

- 連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）
- 地域特性を活かした産業振興
- ・基幹産業である農林水産業における生産基盤の強化と安定供給、より効率的で高品質な生産の推進
 - ・地域産業における多様な担い手と人材が活躍できる環境づくり
 - ・地域の特色ある農林水産物のブランド力の強化や6次産業化など産業間連携の展開、国内外への販路拡大
 - ・産学官金の連携による産業の創出・育成
 - ・地域資源を活かした企業立地の促進
 - ・ロシア極東との経済・文化交流の推進
 - ・建設産業の経営力強化などの促進

ワークショップの結果をビジョンへ反映③

第3回ワークショップで「地域のめざす姿」の実現に向けたアクションプランを作成！

アクションプラン（イメージ）

地域のめざす姿	No.	アクション	取組み開始予定					活動主体		
			すぐ	2年	5年	10年	将来	団体	地域	連携
農林水産業の生産基盤強化・安定供給	1	農地の大区画化及び排水不良等の解消により、良好な営農条件を備えた農地の確保	○					国		
	2	老朽化が進行する農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るため、農業水利施設の戦略的な保全管理を推進	○					国		
	3	農業水利施設の耐震化や「流域治水」の考え方に基づき事前防災対策（流域治水プロジェクト）等を推進	○					国		道、市町村、土地改良区
	4	海からの強風を遮る防風施設を整備し、荷揚げの安全性向上と水産物の品質向上を図る	○					国、市町村		民間
	5	農商工連携による地場産品の高付加価値化や販路拡大		○				民間		国、道、市町村
	6	森林資源の循環利用・木育の推進		○				道、市町村		国
多様な担い手・人材が活躍できる環境づくり	7	GPS自動走行システム等、ICT技術を活用した大型農作業機械の導入するスマート農業を推進		○				市町村、民間		国、道
	8	高校生を対象とした農業研修や林業学習会の実施	○					道、学校	○	市町村
	9	「北海道立北の森づくり専門学院」と連携した地域の林業・木材産業を担う人材の育成・確保	○					道、学校		市町村
	10	ワーケーションの推進など関係人口の創出・拡大		○				市町村、民間		国、道
	11	移住関連情報の発信や地域の魅力PRや移住希望者向け就業関連情報の発信		○				市町村		国、道、民間
	12	農林水産業における多様な担い手育成・確保のため高校や大学などの教育機関と連携した取組や官民が一体となった働き手確保に向けた取組の推進	○					道、学校		市町村、民間
	13	高校生等の地元定着や都市部若者のU・Iターンの促進や官邸園等における関連イベントでの地域の魅力発信		○				市町村		国、道

ワークショップ結果を「地域づくり推進ビジョン」の地域重点プロジェクトに反映

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

地域重点プロジェクト

「食関連プロジェクト」

《地域のめざす姿》

地域特性を活かした産業振興

■連携地域の主な施策の方向

- 基幹産業である農林水産業における生産基盤の強化と安定供給、より効率的で高品質な生産の推進
- 地域産業における多様な担い手と人材が活躍できる環境づくり
- 地域の特色ある農林水産物のブランド力の強化や6次産業化など産業間連携の展開、国内外への販路拡大
- 産学官金の連携による産業の創出・育成
- 地域資源を活かした企業立地の促進
- ロシア極東との経済・文化交流の推進
- 建設産業の経営力強化などの促進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	上川の農産物供給力向上プロジェクト 上川地域は水稲や野菜類を主体に多様な作物が栽培され、全国的に流通しています。しかし、上川地域の農業経営は、ほ場の区画が比較的小さいことや泥炭地に代表される排水不良、水利施設の老朽化により生	○農産物の生産性向上 ・GPS自動走行システム等、ICT技術を活用した大型農作業機械の導入するスマート農業を推進することにより、生産コストの低減、高品質生産、担い手への農地の利用集積を促進します。 ・土壌改良と排水不良を改善し、農地の有効活用のための汎用化、土地生産性の向上、農業生産額の拡大を図ります。	国、道	（国 R2までに完了） ○農業 ・国営総合農地防災事業（空知川地区）（H28完了） ・国営総合農地防災事業（とうま地区）（H29完了） ・国営造成土地改良施設整備事業（山部（二期）地区）（R1完了） ・国営かんがい排水事業（ふらの地区）（R2完了） ・国営農地再編整備事業（富良野盆地地区）（R2完了） ○道路

参考：上川管内各地のイベント

実施市町村	実施予定月日	行 事 名	開催場所	内 容
東川町	7月11日（木）～ 7月22日（月）	公共施設内の展示	せんとぴゅあ内	町内外から一定入込が見込まれる施設内において、1週間程度展示を行う。
旭川市	7月7日（日）	かわまちフェス	旭川駅南口 （北彩都ガーデン）	音楽ステージ、飲食販売、水辺で乾杯
中川町	7月7日(日)	第10回天塩川de水切り北海道大会	中川町字佐久天塩川	中川町の中央を流れる大河「北海道遺産」天塩川。昔ながらの遊び”水切り”の回数を競います。入賞者には賞金や地域の特産品詰め合わせが当たります。
上富良野町	7月22日（月）～	公共施設内の展示	日の出公園展望台2階	町内外から一定入込が見込まれる施設内において、数日程度展示を行う。
美深町	7月26日（金）～ 7月27日（土）	第38回美深ふるさと夏まつり	美深町民体育館横イベント広場	美深の真夏の一大イベント「ふるさと夏まつり」。1日目夜には、地域の大人や子どもたちが毎年手づくりする大迫力のあんどんが街中をパレードします。2日目は、昼間に青空発表会や子ども相撲大会、子どもから大人まで楽しめる各種催しもの、夜にはビールパーティー、ヨサコイ演舞、バンド演奏、豪華景品が当たる大抽選会が行われます。
南富良野町	7月27日(土)	第53回かなやま湖湖水まつり	かなやま湖畔キャンプ場	かなやま湖畔キャンプ場を会場に、キッチンカーや町内の飲食店、アウトドア体験や金山ダム見学会のほか、歌謡ショーなどのイベントが盛りだくさん。夜には、大花火大会が開かれ、湖を横断する全長700mのナイアガラをはじめ3000発の花火が湖畔を彩ります。
和寒町	7月28日（日）	第19回どんとこい！わっさむ夏まつり	ふれあいのもり	子どもたちに大人気のカブト虫王国ではカブト虫一本釣りやカブト虫くじの抽選会などが行われる他、移動動物園、ステージショー、屋台などがあり、ご家族・ご友人と一日中お楽しみいただけますので、是非お越しください。
東神楽町	8月4日(日)	第52回ひがしかぐら花まつり	義経公園	大人気の歌謡ステージや花火とレーザーショーを今年も開催を予定しています。

参考：上川管内各地のイベント

実施市町村	実施予定月日	行 事 名	開催場所	内 容
当麻町	8月4日（日）	とうま蟠龍まつり	公民館まとまる前特設会場予定	ダンスパフォーマンスなどの各種ステージイベント、露店や大人気の「子ども縁日」など、当麻で最も熱い1日となります。また、郷土芸能である「蟠龍太鼓」や「龍踊り」のステージは迫力満点で必見です！
剣淵町	8月4日（日）	けんぶち桜岡湖水まつり	桜岡公園	人気のキャラクターショーや剣淵屯田太鼓、チアリーディングなどのステージイベントが行われます。会場周辺を多くのグルメテントが囲み、多くの人で賑わいます。締めの花火が湖面に映る姿は壮観です。
鷹栖町	8月11日（金）	パレットヒルズ夏まつり	パレットヒルズ 鷹栖町17線8号	自然いっぱいのパレットヒルズで夏を楽しみませんか？飲食物の販売も予定しています。
愛別町	8月14日（水）	第31回あいべつ夏まつり	ふれあい通り及び蔵ら裏イベント広場	子ども縁日・カラオケバトルなど、子どもも大人も楽しめるイベントが盛りだくさん。夜には仮装盆踊りや花火大会なども開催されます。その他露店やステージイベントなどもあり、毎年多くの人でにぎわいます。ぜひお越しください。
音威子府村	8月17日（土）	森と匠の村 ふるさと納涼まつり	音威子府村公民館前特設会場	今年は待望の“仮装盆踊り”も復活し、“ダンス”や“ゲーム大会”をはじめとしたステージイベントや“花火”、“大抽選会”を多くの村民の皆さんにお楽しみいただければ幸いです。

※調整済みのものを記載。今後も順次追加

道北地域づくりワークショップ開催！ ～みんなで創ろう！ HOT&COOL DOHOKU～

「地域づくり推進ビジョン」にあなたのアイデアを！

第9期北海道総合開発計画では分野を超えた連携・協働による“共創”が重要とされています。そこで、道北の未来に向けたアイデアを出し合うワークショップを開催して、ビジョンに反映させたいと思います。

共に『HOTでCOOLな道北』を創りませんか？

開催時期・場所等

- 10月～12月で、2～3回を予定
- 3会場(名寄・士別、旭川、富良野)で開催予定

※詳細決定後、旭川開発建設部HP等で公表します



ワークショップのための
アイデアを募集します



- ①道北地域が持つ「強み」、「弱み」
- ②道北地域の「めざす姿」や、地域で「やりたいこと」、
「こうなってほしい」ということ
など、あなたの意見・想いを教えてください。

※いただいた意見はワークショップにて活用する予定です。



ご意見はこちらから
投稿ください↓



<https://forms.office.com/r/SpSrHU1ZWK>

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

主催 北海道開発局 旭川開発建設部
ホームページ:<https://www.hkd.mlit.go.jp/as/>
問合せ先:地域連携課(0166-32-3079)



20240719v

ワークショップのための アイデアを募集します



←ご意見はこちら
もしくは下に書き込
みください。

<https://forms.office.com/r/SpSrHU1ZWK>

ワークショップでは、道北地域の「食、観光、脱炭素、くらし、交通・物流、安心・安全等」をテーマに、地域が『めざすべき姿』を『共創』の力で実現させるためのアイディアを出し合い、『アクションプラン』として取りまとめ、ビジョンに反映します。

①道北地域が持つ「強み」、「弱み」などについて、あなたの意見をお聞かせください。

	好影響	悪影響
内部環境	強み・好きなところ (Strengths) ・広大な森林など地域資源を生かした一次産業 ・大雪山など豊かな自然環境 ・青い池やラベンダーなど全国屈指の観光資源 ・木質バイオマスなどの再生可能エネルギー資源 ・ ・	弱み・苦手なところ (Weaknesses) ・人口減少による後継者、担い手不足 ・観光地が広域的に分散 ・高規格道路等のミッシングリンク ・地域間の医療格差 ・ ・
外部環境	機会・チャンス (Opportunities) ・ロボットやICTを活用したスマート農業の推進 ・インバウンドを含めた観光客の増加 ・北海道の再エネ電力を首都圏に送る北海道本州間連系設備(日本海ルート)の整備計画が進展 ・ ・	脅威・ピンチ (Threats) ・JRの減便、廃駅 ・激甚化、頻発化する大規模な自然災害 ・地球温暖化の進展 ・ ・

②道北地域の「めざす姿」や、地域で「やりたいこと」、「こうなってほしい」など、あなたの想いを教えてください。

- ・道北をアドベンチャートラベルの聖地に！
- ・旭川から稚内までを繋ぐ「きた北海道サイクルルート」をナショナルサイクルルートに選定
- ・学びもできる観光地！青い池から十勝岳火山情報センターを繋げ、防災意義を伝えるジオツアーを実現
- ・道北の「モノ」を全国・世界へ！物流の中継拠点の創出と持続可能な物流システムを構築し、物流の停滞を防ぐ
- ・
- ・